

第 22 回全国私立大学附属・併設 中学校・高等学校教育研究集会（附属校サミット） の開催にあたって

1996 年、2006 年に続き、「附属校サミット」を早稲田大学本庄高等学院で開催いただくことは、本校にとってまことに光栄であり、また喜ばしいことでもあります。一方で、開催校の重責を想像し、身の引き締まる思いでもあります。充実した研究集会となるよう教職員一同精一杯取り組みますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

案内の中に、不遜にも「教育プログラムに生徒たちが主体的に、目を輝かせて取り組むために教師はどうしたらよいか。そこに教師一人ひとりの力量が問われています」と書かせていただきました。時代が変わりいかに教育方法が変容しようとも、対面型の教育が継続される限り、教師の力量が問題になるのは当然だと思われまます。

古くから「経師は遇ひ易く、人師は遇ひ難し」（資治通鑑）などと言われるように、知識の教授にとどまらず、人の行うべき道を含めて教え導くことのできる教師は少ないのかもしれませんが。だからいっそう、「義卿（吉田松陰の字）の胆略、炳文（小林虎三郎）の学識、稀世の才なり。ただし事を天下に成す者は吉田子なるべく、我が子を依託して教育せしむべき者は、独り小林子なるのみ」と弟子一人ひとりの特性を見極め、全人教育を為す佐久間象山の如き、教師として力量の高い人物が称揚されるのでしよう。

いま、欧米の国々で連続的に発生するテロや東アジアの国々の不安定な関係を思うに、現代は先行きが見通せない不透明で、不確実な時代と言わざるを得ません。そうした時代に逞しく生き抜くことが期待される子供たちをどう育てるのか、教師の重要な仕事だと考えます。だから教師たちには、さまざまな知識・技能、そして心の優しさが求められ、ここに「学び続ける教員像」が希求される所以があるのです。

今回、研究集会の幕開けを飾っていただくのは教育学者安彦忠彦氏による「何のための教師」という基調講演です。フランスの哲学者ジョルジュ・ギュスドルフの同名の書から発想されたようで、私たち教師に突きつけられる刺激的な内容であると思います。

本田恵子氏の「生徒を理解し、自立させる教師力」なる講演は自尊心の乏しい生徒をどのように教え導くのか、意欲的な提言となることでしょう。他にも、鈴木寛氏の「働き方に関する管理職のマネジメント」、村上公一氏の「大学改革と附属校」、佐藤慎一氏の「正課授業としての国際交流イベントの開催と学習マネジメント」、三村隆男氏の「私立学校とキャリア教育」など盛りだくさんの内容を用意いたしました。これらの講演や講座をご聴講された先生方と、大いに議論を深め、学び合いたいと思っています。

早稲田大学本庄高等学院
学院長 吉田 茂

会場校からのメッセージ


～私たちは何のために教員になったのかを共に振り返りましょう～

何のために教育活動をしているのか、どんな生徒を育てたいのかを再確認し、それを実践する力量を身につけるような研究集会にしたいと考えています。本集会にご参加いただく先生方と一緒に、教員になった頃の初心を思い出して、今後どのような教員でありたいのかを突き詰めて考えてみたいと思います。2日間という短い時間ではありますが、皆さんと共に精一杯学んで、「また明日から共に仕事を頑張ろう。」と思っただけのよう準備いたします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日程

11月17日（金）

時間	内容	場所
10:40～	受付・クローク (クロークは18:00まで利用可能)	校舎正面エントランス付近
11:20～12:10	公開授業 9ページ「公開授業一覧」参照	校内各会場
12:10～13:10	昼食 ※ お弁当又は、生協食堂をご利用ください。周辺に食事のできる場所はありません。	食堂（校舎）
12:20～13:10	研究集会実施連盟 総会	大会議室（校舎）
	休憩・移動 (校舎から稲稜ホールへの移動は約5分必要です)	校舎 ↓ 稲稜ホール
13:30～14:00	開会行事 連盟会長挨拶・開催校挨拶・研究テーマ解説	稲稜ホール
14:00～15:10	基調講演「何のための教師」 安彦 忠彦 神奈川大学特別招聘教授・名古屋大学名誉教授	稲稜ホール

	<p><講演要旨></p> <p>これからの公教育を担う教師に求められるものは、①子供を主体的な「人格」をもつ人間として、その生活や学習における能動的性格を發揮させ、②各教科等による「学力」の向上に、アクティブ・ラーニング等を効果的に用いて、教科等の専門家として責任を持って取り組み、③「学力」を「人格」にコントロールされる対象・手段として位置づけるという指導活動の枠組みを明確に保ちつつ、④最終的に「子供の自立＝未来決定の自由」保障のために、「教育の中立性」に絶えざる配慮を尽くしながら、⑤学校外の関係者との連携を視野に入れた「専門職としての教師」の自覚を常に高めることである。</p>	
<p>15:15～16:05</p>	<p>生徒発表</p> <p>1. Pre-WaISEC から WaISEC へ ～SGH 生徒運営チームの学びのラリー～</p> <p>2. 本学院の卒業論文を軸としたアカデミックリテラシー教育 <発表テーマ></p> <p>① 本庄市内河川における外来エビの分布状況とその理由</p> <p>② ケルビン波から見た船のエネルギー効率化</p>	<p>稲稜ホール</p>
<p>16:05～16:15</p>	<p>福島をフィールドとした「主体的・対話的で深い学び」の実現 福島県観光交流局観光交流課教育研修担当</p>	<p>稲稜ホール</p>
<p>16:15～16:20</p>	<p>歓迎の挨拶 早稲田大学総長 鎌田 薫</p>	<p>稲稜ホール</p>
	<p>休憩・移動</p>	<p>稲稜ホール ↓ 校舎</p>

16:30～17:10 公開授業 意見交換会 (公開授業を実施した教室で行います。体育はS203 教室で行います。) その後、生徒によるポスターセッションに合流	16:30～17:40 生徒によるポスターセッション 生徒発表への質疑応答・意見交換も含まれます (校舎内 中央階段)	16:30～17:40 管理職対象講座 「働き方に関する管理職のマネジメント」 鈴木 寛 元文科省副大臣 東京大学・慶應義塾大学教授 (校舎内 大会議室)
	休憩・移動	各教室 ↓ 食堂
18:00～19:40	懇親会 (任意参加) オープニング：早稲田大学本庄高等学院應援部による演舞 連盟会長挨拶・開催校挨拶・次回開催校挨拶 ※ 任意参加ですが、できるだけ多くの方にご参加いただけましたら幸いです。ぜひご予約ください。	食堂 (校舎)

11月18日(土)

時間	内容	場所
8:50～	受付・クローク (クロークは14:00まで利用可能です)	校舎入口
9:20～10:50	分科会 <全6講座> A「大学改革と附属校」(管理職対象) 早稲田大学 理事 附属校担当 教育・総合科学学術院 村上 公一 教授 B「教育活動の明日につなげるリフレクション ～TPチャートの作成～」 東京大学 大学総合教育研究センター 栗田 佳代子 准教授 東京大学 教養学部 吉田 壘 特任助教 C「正課授業としての国際交流イベント開催と 学習のマネジメント」 日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学科 佐藤 慎一 教授	受付時にお知らせします。

	<p>D「私立学校とキャリア教育」 早稲田大学 教育・総合科学学術院 三村 隆男 教授</p> <p>E「高大連携競技スポーツガイダンス実施から 総合型地域スポーツクラブ構想へ」 早稲田大学本庄高等学院 福永 泰規 教諭</p> <p>F「生徒指導上の配慮と SNS 指導教材の開発」 早稲田大学本庄高等学院 太田 洋平 教諭</p> <p>*事前にアンケートで聞かせていただいた第1希望の分科会にご参加ください。</p>	
	休憩・移動	校舎 ↓ 稲稜ホール
11:10～12:10	<p>特別講演 「生徒を理解し、自立させる教師力」 本田 恵子 早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授</p> <p><講演要旨> 自尊心（自分らしさを大切にしている心）が低下し「自分は価値のない人間である」と答える中高生が増えている。 では、「自分らしさ」とは何か？「人間としての価値」とは何か？ 多様化する社会で、学校でどのようにこの問いに取り組み、彼等が自分の特性に気づき、理解し、自らその特性を育成するための支援を行っているのだろうか。 自らの課題を見出し、思考し、解決していく力を育てるために教師は何ができるかを考えていきたい。</p>	稲稜ホール
12:15～12:35	<p>全体会</p> <p>① 各分科会のまとめ</p> <p>② 意見交換・交流</p>	稲稜ホール
12:35～12:45	閉会行事 事務連絡	稲稜ホール
12:50～14:00	昼食（食堂を利用できます）	校舎内 食堂

公開授業一覧

教科	授業担当者	教室	学年 クラス	科目	内容
国語科	川鶴 進一	S201	3年	古典B (文系必修選択)	承久本『北野天神縁起』 巻五「柘榴天神」
数学科	太田 洋平	S202	3年	数学Ⅲα (理系必修選択)	偏微分
地歴・ 公民科	上田 太郎	N212	3年	政治・経済 (文系必修選択)	選挙公約作成学習 校内投票結果に基づく政権連合交渉
理科	影森 徹	S316	3年	物理 (理系必修選択)	電磁誘導と電磁波 ～自己誘導と相互誘導～
英語科	望月 眞帆	CALL	3年	Academic English (Discussion) (文系必修選択)	Individual presentation sessions for revision followed by discussion; acting as a moderator or a speech maker
保健 体育科	篠田 洋之	体育 館	2C	体育	球技(ネット型) 「バレーボール」
情報科	半田 亨	N217	1G	情報の科学	プレゼンテーションスキル養成 「エレベータープレゼンテーション」

※ 17日 16:30～17:10の「公開授業意見交換会」は、公開授業と同じ教室で行います。

※ 体育の意見交換会はS203教室で行います。